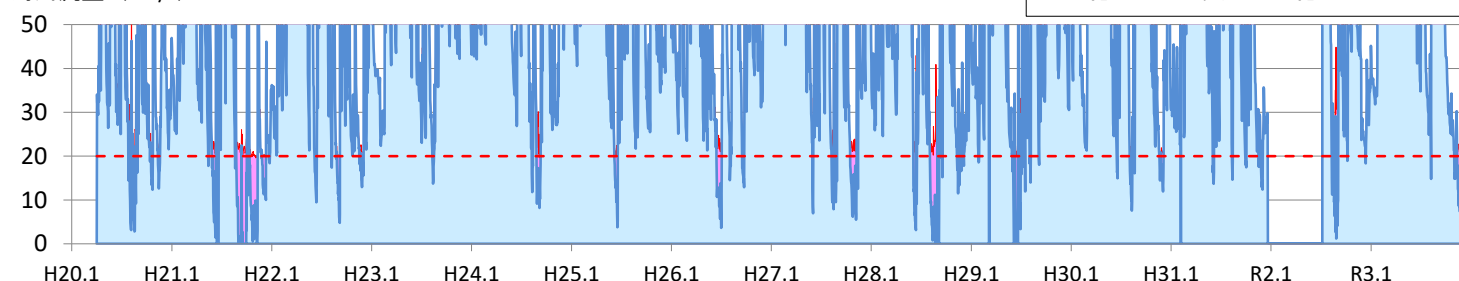


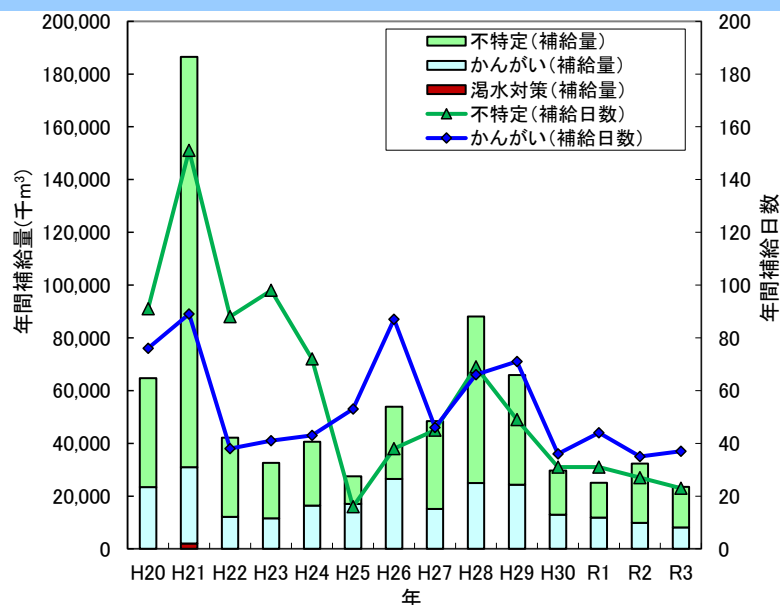
ダムの目的②-1：流水の正常な機能の維持(不特定用水)

- 下流河川の流量が揖斐川町岡島地点 $10\text{m}^3/\text{s}$ 、大垣市万石地点 $20\text{m}^3/\text{s}$ を下回った場合には、徳山ダムに貯留した水を、**下流の基準地点に向けて補給し、揖斐川の瀬切れを解消**している。
- 平成20年5月の管理運用開始以降において、流水の正常な機能の維持のために補給した水量（かんがい振替分を含む）は、年平均約54,190千 m^3 であった。

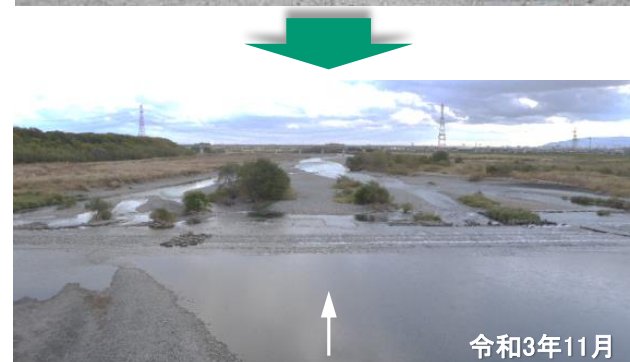
河川流量：(m^3/s)



徳山ダム運用開始以降の不特定補給状況



瀬切れの解消（平野庄橋）



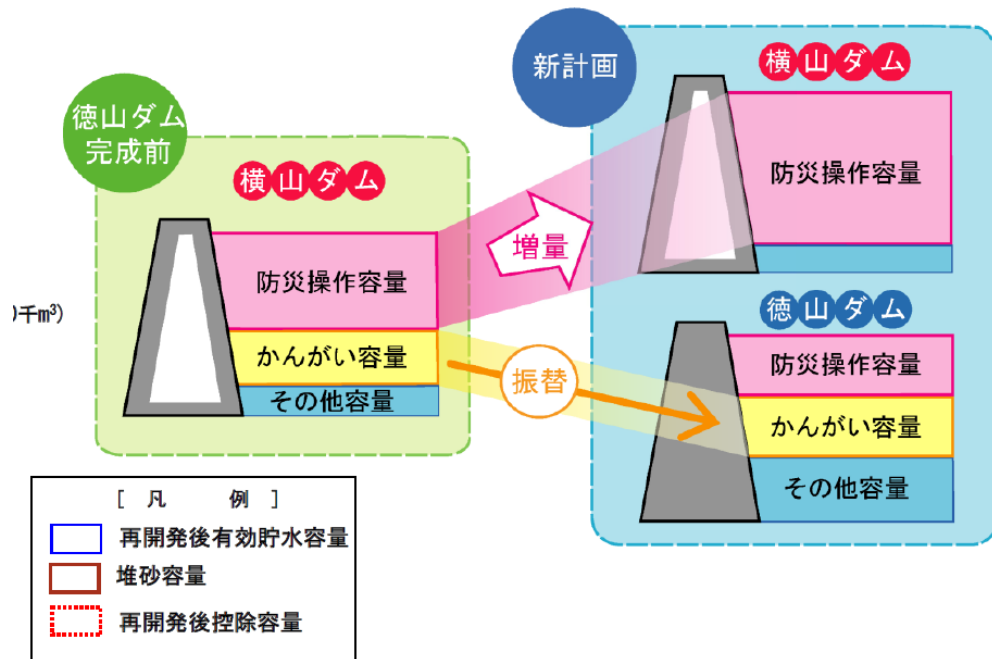
ダムの目的②-2：横山ダムから機能を振り替えたかんがい用水

■徳山ダムからの放流により西平ダム流下量を調整することにより、岡島頭首工上流で取水する西濃用水等のかんがい用水の安定取水、岡島地点の確保流量の充足に寄与している。

■西濃用水（受益面積 約5,300ha）については、徳山ダム管理運用開始前の9年間のうち5年間に於いて節水を行っていたが、徳山ダム管理運用開始後は節水を行っておらず、安定取水が継続できている。

【西濃用水】

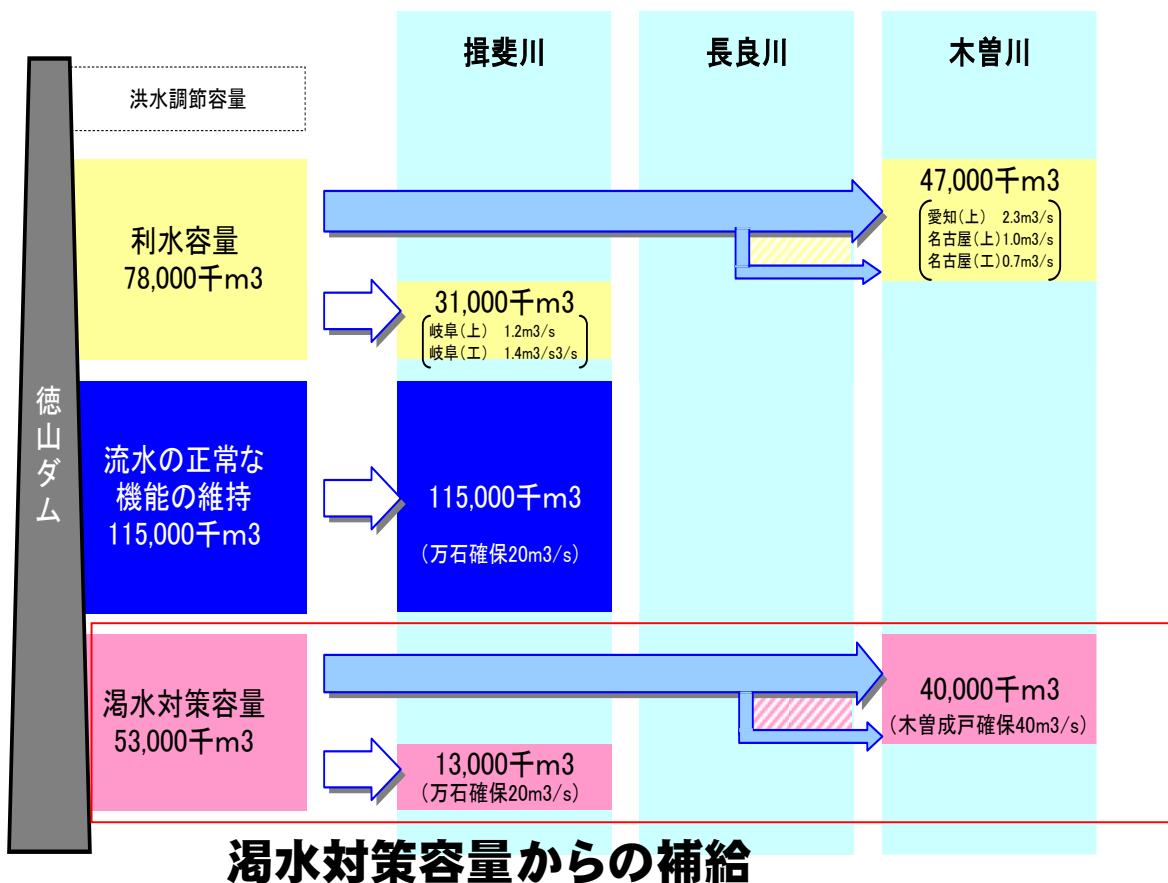
- ・受益市町：1市6町
- ・受益面積：約5,300ha
- ・かんがい用水
 - 最大15.6m³/s（4/10～5/10）
 - 最大21.7m³/s（5/11～5/31）
 - 最大18.2m³/s（6/1～10/5）
 - 最大8.9m³/s（10/6～10/15）
 - 最大4.5m³/s（10/16～翌年4/9）



ダムの目的②-3：流水の正常な機能の維持(うち異常渇水対策)

徳山ダムの渇水対策容量は、1／10渇水を超える異常渇水に備え、木曽川水系の維持流量を確保する。

平成6年のような異常渇水においても**揖斐川**で $20\text{m}^3/\text{s}$ 、他ダムと合わせ**木曽川**で $40\text{m}^3/\text{s}$ を確保するための補給を可能とする。



渇水対策容量からの補給

